

# 図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30  
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566  
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605  
 URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>

## ピックアップ

一般



**蜜蜂**  
 マヤ・ルンデ／著  
 NHK出版

2098年中国、人工授粉をして細々と暮らすタオの息子が突然気絶。謎の病は、蜜蜂に関わる過去の出来事からつながっていた。人類の危機と希望を描く3つの家族の物語。

【中央】

児童



**シンデレラのねずみ**  
 斉藤洋／著  
 偕成社

市立図書館の児童読書相談コーナーでアルバイトをしている“わたし”のもとには、なぜか不思議な話が集まる。『アリスのうさぎ』に続く、図書館を舞台にした奇譚集。

【中央・葦山】

## 9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	⑧☆
9	⑩	11	12	⑬	14	15
16	⑰	18	19	20	21	⑳
23	⑳	25	26	27	㉘	29
30						

○中央休館日 □葦山休館日  
 ◇両館休館日 ☆おはなし会

### ☆9月のおはなし会

中央図書館 8日(土) 11：00～  
 葦山図書館 8日(土) 14：00～  
 22日(土) 14：00～  
 大仁くぬぎ会館こども広場  
 13日(木) 11：00～

## 新着本コーナーから

- 一般 噛み合わない会話と、ある過去について 辻村深月／著【中央・葦山】
- 一般 道具箱はささやく 長岡弘樹／著【中央・葦山】
- 一般 看る力 阿川佐和子／著【中央】
- 一般 しない。 群ようこ／著【葦山】
- 一般 世界遺産100断面図鑑 中川武／監修【葦山】
- 児童 キリンの運びかた、教えます 岩貞るみこ／文【葦山】

## お知らせ

### 葦山図書館を一時休館します

葦山図書館の本や雑誌など、すべての所在を確認する作業のために必要な休館です。期間中はご不便をおかけしますが、ご了承ください。とき／9月23日(日)～28日(金) ※中央図書館は、通常どおり開館します。

## あなたの特技や経験を生かしてみませんか？

### 平成31年度生涯学習きっかけ作り塾 講師募集

募集数／一般部門30講座程度、子ども部門5講座程度(両部門の兼任可)  
 実施期間／平成31年4月～平成32年3月  
 提供会場／市内社会教育施設・文化施設  
 応募条件／▶説明会・講師会に必ず出席すること▶自主的に講座を開講し講師を務められる人(公認資格の有無などは問いません)▶政治・宗教・営業活動を伴うもの、危険を及ぼすもの、極端に高額な経費を要するもの、市主催講座にふさわしくない内容のものなどは不可

生涯学習課  
 ☎ 055-948-1461

### 講座開設説明会

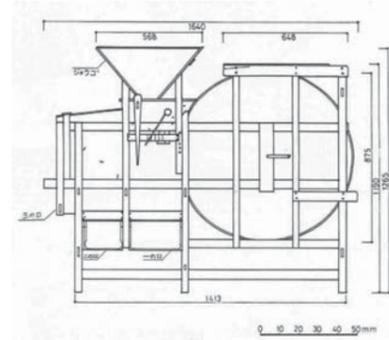
とき／10月4日(木)19時  
 ところ／大仁くぬぎ会館 会議室1  
 内容／事業内容、運営方針、選抜手順などの説明  
 ※説明会に出席しなければ講師登録できません。

# 文化財通信

その159

## 「民具も文化財?! ～ちょっと昔の生活を学ぼう～」

文化財課  
 ☎ 055-948-1428



『葦山町の民具－葦山町史別篇資料集－』(平成4年)「図161トウミ」より

**伝** 伝統的な日常生活や生業(なまわ)の中で必要とされてきたものを「民具」と呼びます。一度に大量生産できない「古風な日用品」と捉えるとイメージしやすいでしょう。市では、市民の寄贈による民具も文化財として収蔵しています。民具が貴重である理由の一つは、私たちの現代生活に直接的につながるものであるにもかかわらず、製造技術や使い方の知恵と工夫の記憶に断絶のおそれがあるからです。日常で使用されてきた民具は、その土地の風土や用途に合わせて工夫を重ねて変化してきたため、記録が残っていないものが多く、地域に

よって呼称が異なる場合さえあります。たとえば「唐箕」は、穀物の穀粒をのみ殻(がら)やごみと吹き分ける農作業用の民具で、江戸時代の中ごろから使われはじめました。形態は多様で、風を送る歯車(ちりょう)が木製のものや鋳造製のもの、支柱があるものやそれがなく長い縦木が風を起こす部分の上端までのびているもの、穀物の落とし口である漏斗部分(しようち)が外せるものと外せないものなどがあります。大きさもさまざまで、製造者や製造年が記されている場合もあります。市収蔵で製作所がわかっているものには「片岡式改良唐箕」が最も多く、ほかに「サシナミ式農機※」「スズキ式改良唐箕」があり、漏斗だけを後に作り直したものもあります。近世から近代における農機具などの流通を考えると、唐箕を単に「センブキ」と



左から田下駄、ぞうり、わらぐつ(市収蔵)

呼ぶ地域もあります。唐箕を応用して水車にしたり、石見銀山(島根県)では、坑道に空気を送り込む道具として利用したりもしました。このような民具は、ほかの文化財と同様に、市民の財産として公開し、活用する必要があります。市郷土資料館では、市収蔵の民具を小学校など教育機関に教材用として貸し出したり、学芸員がこれらを使った出張授業を行ったりしています。利用を希望する人(学校教育・社会教育利用に限る)は、文化財課または市郷土資料館に問い合わせください。 ※大正2年(1913)創業の指浪製作所は、愛知県で現在も操業しています。

伊豆の国市郷土資料館  
 ☎ 0558(76)5678